

「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業【京都市】

地域の実情と課題

【現状】

- ・民間企業における女性の管理職比率は、全国と同様に依然として低い。
- ・週間就業時間60時間以上の雇用者の割合が10.0%と全国7番目の高さであることなどから、企業における長時間労働の是正や働き方の見直しが課題

【課題】

今後、個人、企業・組織、社会全体が発展していくためには、長時間労働を前提とした働き方の見直しや女性の活躍推進等の取組を推進し、ワーク・ライフ・バランスを実現する社会を構築することが不可欠である。

目的・目標

【目的】

シンポジウムやセミナー等の開催を通じて、女性活躍推進や働き方改革に向けた気運の醸成を図るとともに、企業の取組を促進することにより、男性、女性共に、仕事と生活、地域活動の調和のとれた生活を送ることができる「真のワーク・ライフ・バランス」が実現した社会を目指す。

【目標】

- ・シンポジウム受講者数 240名 ⇒ 166名（目標達成度:69.1%）
- ・セミナー受講者数 40名 ⇒ 27名（目標達成度:67.5%）
- ・WIT参加者数 500名 ⇒ 575名（目標達成度:115%）
- ・「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業数 3,200社 ⇒ 1,867社（目標達成度:58.4%）

事業の特徴

【京で輝く！女性活躍推進シンポジウム】

長時間労働の是正等の働き方改革や企業における女性の活躍推進に向け、シンポジウム及びパネルディスカッションを開催

【女子学生向けセミナー】

女子大学生を対象に、結婚や出産などを経ても働き続けられるような、働き方や今後のキャリアプランを考えるための講座を実施

【京都女性活躍推進サミット「WIT(WORK & WOMEN IN INNOVATION SUMMIT)」】

女性活躍推進に向けた気運を高め、オール京都による取組の更なる拡大につながるよう、企業・行政・学生等の交流促進・成果発表等の場として、女性活躍推進サミットを開催

【「真のワーク・ライフ・バランス」に関する広報啓発】

ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する取組が進みにくい中小企業における実践の促進を図るため、ポータルサイトの大幅なリニューアルや民間広報媒体等を活用した情報発信等を実施

連携団体

<「輝く女性応援京都会議」構成団体>

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、
京都府商工会議所連合会、京都府商工会連合会、
京都府中小企業団体中央会、京都商工会議所、京都経営者協会、
一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、
京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会女性部連合会、
京都商工会議所女性会、日本労働組合総連合会京都府連合会、
国際ソロプチミスト京都、国際ソント京都クラブ、
公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、
公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府・市男女共同参画センター

事業の効果

【京で輝く！女性活躍推進シンポジウム】

参加者アンケートの結果では、満足度は9割を超え、参加者の女性活躍推進の意識を高めることができた。

【女子学生向けセミナー】

学生と近い年齢の社員と管理職を講師に迎えたことで、参加した女子大学生が、自分の将来の働き方やキャリアプランを考えるための機会になった。

【京都女性活躍推進サミット「WIT(WORK & WOMEN IN INNOVATION SUMMIT)」】

京都内外の企業や有識者による講演・意見交換、全国の先進的な取組事例・具体的な導入手法の紹介等を行うことで、働き方改革と女性活躍の自発的な取組を促進する契機とすることができた。

【「真のワーク・ライフ・バランス」に関する広報啓発】

企業の取組の先進事例やモデルケースを把握・収集するとともに、民間広報媒体やポータルサイト等を活用し、他の企業に対して収集した情報を発信するなどの連携を図ることができた。

今後の課題

女性の活躍を推進し、男女が共に多様で柔軟な働き方を実現していくために、更なる意識啓発や人材育成等が必要であり、より事業効果の高いシンポジウム・セミナー等を開催する。

また、真のワーク・ライフ・バランスや働き方改革、女性活躍の推進に取り組む企業やロールモデルを発掘し、取組が地域全体に広がるよう、効果的な広報・啓発に取り組む。